

Sports Channelかのや 2017年春夏号 Vol. 5



注目のアスリート：「大隅から公立初の甲子園、日本一」を目指す鹿屋工業高等学校野球部を紹介します。

《平成29年4月～9月の主なスポーツイベント》



月 日		イベント名	場 所	備 考
4月	2日	くしら桜まつりジョギング大会	串良平和公園	申込締切済
5月	14日	第29回南日本クロスカントリー大会 IN きほく	輝北うわば公園	4月7日応募締切
6月	25日	ボールゲームフェスタ in かのや	串良平和アリーナ・屋内練習場	要申込（後日案内致します）
7月	1～2日	第17回肝属地区体育大会	肝付町外	
	中旬	かのやマリインフェスタ2017	高須・浜田海岸	参加自由（一部申込必要）
	18～20日	第76回父親バレーボール大会	串良平和アリーナ	
9月	16～18日	第71回県民体育大会	県内各地	鹿屋市開催種目（ボート）

※上記のイベントは自由に観覧できます。

[illegible]

鹿屋工業高等学校 野球部

昨秋大隅地区新人大会において、甲子園出場経験のある私立高校に競り勝ち優勝。吉田監督曰く、「部員が多く、競争もあり、時間もあって、非常に可能性や潜在能力を秘めた魅力的なチーム」。部員全員が大隅半島出身で、「大隅から公立初の甲子園・日本一」を目指す鹿屋工業野球部に迫った。

チーム目標

「大隅から公立初の甲子園・日本一」
実は、吉田監督就任後から看板を3度作成した。1枚目は「大隅から初の甲子園・日本一」、2枚目は「大隅から初の夏の甲子園・日本一」。いずれも、尚志館高校、鹿屋中央高校の私立高校が達成し、3度目の正直の3枚目。



Interview



かわばた りく
川畑 陸 主将 (志布志市立伊崎田中学校卒業)
2年生 21人、1年生 21人の42人という
大所帯を取りまとめる新主将。
(写真右は、鹿屋東中学校卒業の二宮英稀捕手)

◆なぜ鹿屋工業で甲子園を目指そうと？

二つ上の兄も鹿屋工業で野球をしていたので、その影響が大きいと思いますが、中学1年のときに、鹿屋工業が夏の大会でベスト4に進出したことも決めての一つになりました。

◆甲子園に出場するために工夫していることは？

甲子園に行くためには、私立に勝たなければなりません。私立に比べると練習時間が短いですが、短い時間で時間を区切って集中力を高めるなど、練習の質にこだわっています。

◆冬場の取り組みについては？

秋の敗戦から、チームの持ち味である守備をもう一度見直す。好投手から得点する攻撃力を課題にあげて、「自分改革」「肉体改革」「チーム改革」をテーマに取り組んでいます。

◆主将として心掛けていることは？

部員42人が一体とならなければ、試合に勝つことは難しいと思うので、意思統一するための環境づくりや雰囲気づくりを心掛けています。難しいですが試合で勝てたときは、自分がやってきたことが間違いではなかったと思います。やりがいにつながりますし、またがんばろうと思えます。

◆今後の目標については？

新チームになってから、春の九州大会出場を目標に練習に取り組んできました。決勝まで勝ち上がって、絶対沖縄に行きます。最終的には、夏の「大隅から公立初の甲子園出場」です。

吉田 公一監督

国分高校、福岡大学卒業。高校、大学とスラッガーとして活躍。同部監督就任7年目。

◆新チームを一言でいうと？

今年のチームは、「真面目に・コツコツ・ひたむき」というカラーです。

◆指導者として心掛けていることは？

選手に力と自信をつけさせ、本番で力を発揮させることが最大の仕事と捉えています。そのために、選手の「心」に寄り添う指導を大切にしています。また、自主性を高めるため、雨天時のメンタルトレーニング、野球ノートを活用するなど工夫をしています。

◆今後の目標については？

保護者会の協力による体作り、栄養・トレーニング指導、鹿屋体育大学との連携、大隅地区野球を語る会の指導など、この冬の取組みに悔いはありません。春の大会は、初戦で第1シードとぶつかりますが、非常にワクワク・ドキドキしています。チャレンジ精神でぶつかり冬の取組みを証明したいです。

鹿屋市ソフトボール協会



ッチで行う市長旗大会などを開催し、老若男女を問わず広くスポーツを楽しんでいただいています。また、社会人チームでは全国大会や九州大会へ鹿児島県代表として参加するなど、競技レベルも県内ではトップクラスとなり、平成 27 年から日本女子ソフトボールリーグの帯同審判員を輩出するなど、ジャッジ技術の向上にも力を入れています。

2020 年の鹿児島国体及び東京オリンピック女子ソフトボール競技へ多くの選手を送り出すために今後も励んでまいります。

問合せ先
鹿屋市ソフトボール協会
担当：芝原
(鹿屋市体育協会内)
電話：0994-43-0719



●「日々努力」●

(ALL 肝属中学男子ソフトボールクラブキャプテン)
いわまつ ちから

岩松 近良

自分の選んだ道を信じて、インターハイや国体で活躍できるよう日々努力を積んでいます。「目標は高く、日々努力。決してあきらめるな」を自分に言い聞かせ、現在日本男子ソフトボールリーグに所属している二人の兄に負けないよう高い目標に向かって頑張ろうと思います。

2020 年鹿児島国体で活躍できるよう頑張ります。

Pick up イベント

市民が参加できるスポーツイベントを、紹介します！



ボールゲームフェスタinかのや

ボールゲームフェスタとは、子どもたちとその世代に関わる大人が、ボールを使った様々な運動や、トップアスリートの指導の下、様々なボールゲームスポーツの楽しさを体験するイベントです。

今回は、一般社団法人日本トップリーグ連携機構の担当者に、お話を伺いました。

Q1 フェスタの魅力とは？

午前の部の「ボールであそぼう！」は子どもの発達・発育学の権威である山梨大学教育学部長の中村和彦教授と共同開発したプログラムをもとに行われており、ボールを使ったあそびの中から、学校体育のカリキュラムにない、ひねる動作やボールをつくといった基本的な動作を経験できます。また親子で行うプログラムで、子どもとあそびながらコミュニケーションをとれる機会にもなっています。

午後の部の「キッズチャレンジ」は、当機構に加盟しているリーグのトップアスリートやOB・OGから直接教えてもらえる機会となっています。初心者向けの体験内容となっているため、

普段運動をしていない子どもや、これからスポーツを始めたい子どもにとって参加しやすい内容です。

Q2 どのような人にお勧めですか？

「親子であそぶ方法や機会を探している人」「スポーツを始めたい・ほかのスポーツも体験したい子ども」「普段運動をしていない子ども」「トップアスリートから学びたい子ども」にお勧めです。

Q3 主な講師は？

各リーグのトップアスリートやOB・OGが講師となります。なかにはオリンピック出場者やメダリスト、元日本代表選手なども来鹿します！

※このイベントは、6月25日（日）に鹿屋市の串良平和アリーナ及び屋内練習場で開催予定です。詳細が決定し次第、募集を開始いたしますので、奮ってご参加ください！



▲平成28年6月25日ボールゲームフェスタ in かのや

鹿屋市スポーツ・ボランティア制度を創設します！

- スポーツに興味のある方
 - スポーツイベントにスタッフとして参加したい方
 - スポーツを通じて、交流をしたい方
- など、様々な形でスポーツイベント等に協力したい方を募集します。



鹿屋市スポーツボランティア制度とは？

《背景・目的》

鹿屋市スポーツ推進計画に基づき、多世代や地域との交流、家族ぐるみのスポーツ環境づくりのために、スポーツの指導や運営、ボランティアとして参加するなど、市民の誰もが、様々な形でスポーツに関わることができる、スポーツによる元気なまちづくりを目的として「鹿屋市スポーツボランティア制度」を創設します。

《登録方法》

スポーツボランティア養成講習会を修了し、スポーツボランティア登録申請書の提出を受けたうえで、市長が審査のうえ、適任と認めた者を鹿屋市スポーツボランティアとして登録します。

- ①指導員養成講習会の共通科目修了者、もしくは障害者スポーツ指導員養成講習会の修了者で、スポーツボランティア登録申請書の提出を受けたうえで、市長が審査のうえ、適任と認めた者を鹿屋市スポーツボランティアとして登録します。
- ②登録の審査決定は、鹿屋市市民スポーツ課長が行い、その実務を市民スポーツ課が担当します。

《制度フロー》



スポーツイベント等への協力

各種イベントの開催時に、登録ボランティアに参加協力をいただきます。

市が主催するイベント・大会

- ・クロスカントリー大会
- ・グラウンドゴルフ大会
- ・串良ジョギング大会
- ・マリンフェスタ
- ・スポーツフェスタ
- ・サイクルフェスタ 等

スポーツ合宿

- ・トップアスリートの合宿補助

県が主催するイベント・大会

- ・県下一周駅伝大会
- ・肝属地区体育大会 等

競技団体等が主催するイベント

- ・各種スポーツ大会 等

全国大会等

- ・かごしま国体 等

※詳細が決定し次第、募集を開始いたします。